

## 中城湾港長期構想（案）への主な意見と対応方針について（パブリックコメント結果）

パブリックコメント意見件数 20件

分類	主な意見（概要）	意見に対する対応方針
基本戦略全般	・全体的に総花的な感じがする。メリハリのある具体的な施策を示してほしい。	・12頁を「4 基本戦略に基づく主要施策・取り組み」の一覧として示し、14頁から32頁かけて、主要施策の内容、取り組み一覧・イメージを整理しております。 ・個々の取り組みの具体的な進め方やスケジュールについては、個別事業計画において検討していきたいと考えております。
主要施策 A	・産業集積地域に立地した企業が撤退しないような対策が必要と史料。 ・企業の生産活動には流通経費の圧縮が必要で、新港地区への定期就航と路線複線化が求められる。	・主要施策 A で、「自立型経済の構築を支える物流・産業拠点」を掲げており、背後圏企業等の生産活動の効率化・活性化を支援する取り組みとして、「航路の新設・拡充」、「官民が連携した効率的なサプライチェーンの形成支援」を図ることとしております。
主要施策 B	・新港地区は、臨港道路の位置を変更し、岸壁→荷捌き地→上屋→野積場と一体的に整備する必要がある。 ・港湾荷役は大型車両、クルーズ船は普通車両であるため安全と安心が確保するのが難しくなるのでは。 ・新港地区の立地企業の集積、増加に伴い、人流、車両往来で道路の渋滞は確実である。	・主要施策 B で、「既存施設の再編・強化」を掲げており、ふ頭再編にあたっては、クルーズバースの位置付けを踏まえ、安全で効率的な配置を検討したいと考えております。 ・また、本施策の取り組みにおいて「周辺道路の渋滞対策」を図ることとしており、対策の実施にあたっては、道路管理者と連携し、港湾管理者としても必要な協力を行ってきたいと考えております。
主要施策 C	・肝高公園沖に新たな産業用地を増設し、同時に東埠頭の港湾機能を拡充することを要望する。 ・用地確保に向けては新たな土地の確保が厳しいため、高層化も視野に取り組む必要がある。 ・バイオ関連企業の更なる集積を図る必要があるのではないか。	・主要施策 C で、「新たな産業空間の確保、関連産業の立地促進」を掲げており、物流倉庫等の物流関連企業用地を含む、新たな産業用地の確保、関連産業の立地促進に取り組むこととしております。 ・主要施策 C の取り組みにおいて、「既存産業用地の再整備・高度利用による港湾物流機能の強化」を位置づけ、本取り組みにおいて、既存産業用地の在り方についても検討していきたいと考えております。
主要施策 D	・両港を結ぶフィーダー船を実証実験しては。 ・那覇港と中城湾港を一体で管理運営する体制が必要では。 ・那覇港を商業港、中城湾港を工業港として整備するとした「二眼レフ構想」機能を推進してほしい。 ・高速道路ICや周辺県道、市道とのアクセスが容易になるよう道路の充実を望む。 ・中城湾港の整備と港湾道路及び周辺地区のアクセス整備は喫緊の課題である。 ・東海岸サンライズベルトとして連続的に発展させるには、湾岸道路の整備が必要	・主要施策 D の取り組みにおいて「両港の連携を強化する陸上・海上輸送ネットワークの形成」を図ることとしており、陸上輸送ネットワークの構築については、道路管理者と連携し、港湾管理者としても必要な協力を行ってきたいと考えております。 ・また、「那覇港と中城湾港の機能分担・有機的連携の推進」を図ることとしており、同頁下図の想定される連携方法の例として一元管理についても記載しております。 ・主要施策 D については、引き続き那覇港管理組合等と意見交換を重ねながら、効果的な連携体制を検討していきたいと考えております。
主要施策 E	・沖縄本島3重要港の需給体制等の具体的検証や経済分析を進めるべき。 ・新港西ふ頭での早急な暫定ターミナル建設を進めてほしい。 ・クルーズ船来訪者に対する観光 P R として宿泊・食事、歴史散策、エンターテインメント施設・設備の充実を図ってほしい。 ・クルーズ船バースやターミナルは一時的には良いが、物流港として主整備のため、将来的には泡瀬地区の東部海浜開発「潮乃森」と一体化した整備を行って欲しい。 ・クルーズ船バースを潮乃森沖合いに整備してほしい。	・主要施策 E の「アフターコロナを見据えたクルーズ船寄港地の形成」において、クルーズターミナルの整備にあたっては、アフターコロナのクルーズ需要や2次交通の供給量等の観点も踏まえ、官民連携のもとハード、ソフトが一体となった受入環境整備を進めていきたいと考えております。また本施策の取り組みとして、「県内全域の需要推計、県内各港湾の機能分担・連携、地域経済効果の最大化」や、「短期的なクルーズ客の利便性・安全性の確保」を図ることとしております。 ・新港地区へのクルーズターミナルの位置付けについては、既存港湾施設（航路・泊地等）の有効活用、事業効果の早期発現等の観点を踏まえ設定しております。
主要施策 F	・国内外富裕層であるスーパーヨット関係者への呼びかけと需要喚起策を広く実施、受入施設を早急に整備してほしい。	・主要施策 F の「観光の高付加価値化に資するスーパーヨットの受入環境整備」において、観光部局や地元市町村、また民間を含む関係機関等と連携し、富裕層獲得に向けたハード・ソフト両面での受入環境整備に取り組んでいきたいと考えております。

分類	主な意見（概要）	意見に対する対応方針
主要施策 H	泡瀬地区において、沖縄市が進める土地利用や企業立地及びスポーツコンベンション拠点構想の早期展開を促進してほしい。	・主要施策 H の取り組みとして、「東部海浜開発事業の推進・供用」を図ることとしております。
主要施策 I	・新開と富祖崎を繋ぐ湾岸道路の整備を位置付けてほしい。 ・新開海岸～知念字安座真海岸までの湾岸道路の新設を位置付けて欲しい。 ・泡瀬地区の人工ビーチについて、レジャー空間の活用方を定めつつ、早期供用開始を望みます。	・主要施策 I では「海洋性レクリエーション需要への対応と水際空間の有効利用」を図ることとしております。具体的取り組みにおいて、西原と那原地区から安座真地区にかけて「水際空間の有効利用による地域交流軸の形成」、また泡瀬地区において「人工ビーチの整備」を図ることとしております。 ・このうち、「水際空間の有効利用による地域交流軸の形成」については、地元市町村のまちづくりの動向等も踏まえながら、港湾管理者として必要な対応を検討していきたいと考えております。
主要施策 J	・中城湾沿岸域佐敷地区の持続可能な発展に向け、責任ある対応を図って頂きたい。 ・沿岸部の住環境を重視した長期構想を望む。 ・河口ぐちに土砂の堆積があり雨がふれば床上浸水等があり、それを改善する長期構想にしてほしい。 ・泡瀬地区「前之浜」の陸域・砂浜箇所の保全を求める。 ・佐敷字仲伊保海岸～知念字久原海岸の護岸設置を位置付けて欲しい。	・主要施策 J の「安全・安心を支える環境整備」のうち、海岸保全施設の整備（高潮対策）や港湾施設等の戦略的な維持管理に係る取り組みについては、沿岸 7 市町村全てが検討対象に含まれるよう整理し、各地域・各地区における事業の検討・導入にあたっては、地域の現状や施設の状況、緊急性等を踏まえ、関係機関と連携し取り組むこととしております。 ・なお、佐敷東地区が抱える諸課題については認識しており、長期構想段階では同ページ下段左図及び補足説明のとおり、当該地区の海域を「住環境と干潟環境の共生を図るエリア」とし、防災（人命、財産）と自然環境（干潟）の共生が図られるよう、引き続き関係機関との連携、適切な役割分担のもと取り組んでいきたいと考えております。
主要施策 M	・新港地区全体の防災計画の策定を要望する。 ・津波など防災の観点から避難施設の設置が必要。	・主要施策 M で、「防災・減災対策の推進」を掲げております。防災計画や避難施設設置、訓練の継続実施等については、県や市の関係部局等と連携を図り、港湾管理者としても必要な協力を行っていききたいと考えております。
主要施策 O	・貴重な自然を保護しつつ、調和のとれた整備を行うことを中城湾港長期構想に入れ込んで欲しい。 ・海の保全に向けた諸問題と解決策を記載頂きたい。 ・海域の環境保全措置について記載を提案する。 ・泡瀬地区において環境学習の実施支援を検討して欲しい。	・主要施策 O の「環境との共生」については、“調和”を追加し、「環境との共生・調和」に修正しました。本施策においては、施設整備にあたっては港湾利用とバランスをとりながら自然環境との共生・景観との調和に配慮するとともに、良好な触れ合い環境の保全・創出並びに利活用の促進に取り組むこととしております。 ・また、泡瀬地区の具体的な取り組みとして、「環境学習の実施」を図ることとしております。 ・引き続き、関係機関と連携しながら港湾管理者として必要な環境との共生・調和の取り組みを行っていききたいと考えております。
主要施策 Q	・新港地区は静脈物流拠点とすべき。	・主要施策 Q の具体的な取り組みにおいて、「静脈物流ネットワークの充実（県内離島・国内他港）」を図ることとしております。
ゾーニング	・長期構想で馬天港の復活を期待するし、中城湾港の均衡のとれた発展を望む。 ・旧佐敷マリーナの利活用を位置付けてほしい。	・長期的な空間利用ゾーニングにあたっては、中城湾港の 4 つの将来像の実現に向けて、地区特性を踏まえ、効率性、快適性、安全性の観点から調和のとれた空間利用ができるよう設定しております。 ・各地区の空間利用のイメージにおいて、旧佐敷マリーナを含む仲伊保地区周辺エリアを「親水交流ゾーン」に設定し、海洋性レクリエーション需要への対応や親水性のあるウォーターフロント空間の創出が図られるよう、地元市町村のまちづくりの動向等も踏まえながら、港湾管理者として必要な対応を検討していきたいと考えております。
その他	・佐敷地域の活性化を図るため、宅地用地も含めた構想にしてほしい。 ・佐敷東地区のマリナタウン構想を実現してほしい。	・次期港湾計画改訂では、地元南城市の都市計画等を踏まえ、佐敷東地区等における土地造成計画の見直しを行う予定としております。
	・モルレルを泡瀬地区まで延伸してはどうか。	・県全体の総合的な交通体系計画の中で議論されるものと考えております。
	・新港地区において、「みなとの賑わい」をイメージしたイベント創出に対し、積極的バックアップを行ってほしい。 ・また、「みなとオアシス」についても、新港地区もしくは泡瀬地区での早期の設置・展開を促してほしい。	・イベントの開催については、観光部局や地元市町村等の関係機関と連携しながら、「みなとオアシス」の活用も含め、地域振興に資する賑わい創出に向けた検討を進めていきたいと考えております。
	・泡瀬地区は、単線 1 か所にとどまっていることから、災害・事故等発生時に多大な障害をきたすと懸念される。	・泡瀬地区については、地元市において土地利用の検証が進められており、利活用の在り方がより詳細になった段階で、地元市等の関係機関の意見も踏まえながら、港湾管理者として必要な対応を検討していきたいと考えております。